



第六〇回秋田県消防操法大会



題 字
初代会長 松野 盛吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第六〇回秋田県消防操法大会は八月一九日(土)、秋田県消防学校放水訓練場(由利本荘市岩城)において行われました。

開会式では、前回大会の優勝団から優勝旗が返還された後、神部秀行秋田県副知事、高橋正尚秋田県消防協会長による主催者あいさつ、北林丈正秋田県議会議長の来賓祝辞、渡辺明秋田県消防学校長から審査長指示があり、能代市消防団柳川一童部長が選手宣誓を行いました。

県内九支部の代表として、小型ポンプ操法の部に九分団、ポンプ車操法の部に七分団、軽可搬ポンプ操法の部に二隊が出場し、日頃の訓練の成果を競いました。

その結果、小型ポンプ操法の部で美郷町消防団第二分団、ポンプ車操法の部で鹿角市消防団第五分団、軽可搬ポンプ操法の部で大仙市女性消防隊が優勝に輝きました。



美郷町消防団第2分団



大仙市女性消防隊



鹿角市消防団第5分団

二〇三三年度全国統一防火標語
火を消して 不安を消して つなぐ未来

第60回秋田県消防操法大会成績表

【小型ポンプ操法の部】

順位	出場団名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	美郷町消防団第2分団	40.34	98.0
第2位	小坂町消防団第4分団	40.68	93.0
第3位	秋田市消防団河辺第3分団	40.26	92.5
優秀賞	三種町消防団第5分団	45.25	90.5
	由利本荘市消防団鳥海分団	44.05	88.5
	横手市消防団山内支団第1分団	46.06	85.0
	東成瀬村消防団第3分団	44.34	82.0
	潟上市消防団昭和支団第1分団	48.70	72.0
	北秋田市消防団第2分団	52.49	47.5

【ポンプ車操法の部】

順位	出場団名	タイム(秒)		総得点(点)
		第1線	第2線	
優勝	鹿角市消防団第5分団	52.70	61.30	189.0
第2位	能代市消防団第6分団	55.63	64.48	181.5
第3位	秋田市消防団保戸野分団	60.82	66.93	174.0
優秀賞	大瀧村消防団第3分団	52.45	65.87	165.0
	由利本荘市消防団鳥海分団	60.68	73.74	154.0
	横手市消防団大森支団第1分団	65.21	77.82	146.5
	大館市消防団第2分団	58.96	80.69	133.5

【軽可搬ポンプ操法の部】

順位	出場隊名	タイム(秒)	総得点(点)
優勝	大仙市女性消防隊	51.15	99.0
第2位	潟上市女性消防隊	60.22	90.0

【優秀選手賞】

区分	小型ポンプ操法		ポンプ車操法		軽可搬ポンプ操法	
	出場団名	氏名	出場団名	氏名	出場隊名	氏名
指揮者	小坂町消防団第4分団	亀田 憲人	秋田市消防団保戸野分団	佐藤 聖仁	大仙市女性消防隊	片岡由美子
1番員	三種町消防団第5分団	信太 賢一	秋田市消防団保戸野分団	大澤 陽平	潟上市女性消防隊	小野 千歳
2番員	美郷町消防団第2分団	星山 佑介	鹿角市消防団第5分団	柏木 義隆	大仙市女性消防隊	今野ひろみ
3番員	美郷町消防団第2分団	出茂 彰真	由利本荘市消防団鳥海分団	藤山 恭輔	大仙市女性消防隊	佐藤美佳子
4番員			秋田市消防団保戸野分団	小田島 睦	大仙市女性消防隊	一色 順子

競技審査の講評

◎大会審査班長

秋田県消防学校

佐藤玲緒奈

■総合

四年ぶり通常開催となる大会でしたが大雨による災害で支部大会が延期や中止となり、また、今年の異常気象による猛暑の中、大会進行にご協力頂きありがとうございます。開会式の短縮などに課題を残し、今の時代に即した大会方式への転換

を考えさせられました。全体的に、規律、節度、タイム等、日頃の訓練成果が発揮されておりました。昨年度、三種町消防団第五分団が全国大会準優勝を果たすなど、秋田県消防団のレベルの高さを感じました。

■小型ポンプ操法の部

成績上位チームは大幅にタイムを縮めています。今後は全体のレベルアップを目指し、操法要領遵守、基本動作を徹底して訓練していただきたいと思えます。

■ポンプ車操法の部

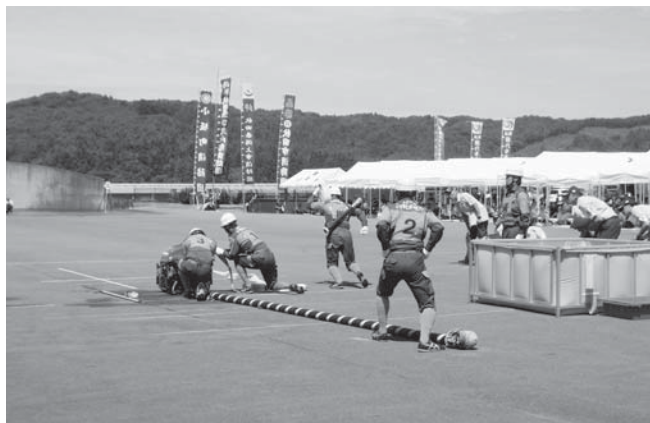
第一線、第二線ともに昨年度よりタイムが縮まりました。全国大会のある来年に向け、規定外圧力送水や注水補助姿勢の不適など、操法要領を遵守し訓練するようお願いいたします。

■軽可搬ポンプ操法の部

二隊とも規律正しい操法で、士気の高さを感じました。大仙市女性消防隊には、さらなるスピードアップを目標として、全国大会での御活躍を期待しております。



秋田市消防団保戸野分団



由利本荘市消防団鳥海分団

災害の防止と消防活動の安全を誓う

令和五年度殉職消防職・団員慰霊祭

令和五年度(第九六回)殉職消防職・団員慰霊祭が、八月三十一日(木)秋田市千秋公園本丸の「殉職消防組員招魂碑」前で、秋田県消防協会が祭主となり行われ、遺族一五名のほか、来賓、消防協会役員など三八名が参列しました。



神事の後、高橋正尚秋田県消防協会長が、「ここに合祀されている四七柱の御霊が不屈の消防魂で職責を全うされたその崇高な精神は、県内消防人の鑑であり、我々消防人は御霊のご遺訓を胸に、一致団結して地域住民の安全・安心のため最善を尽くすことを誓います。」と祭主祭文を奏上しました。

来賓を代表して神部秀行秋田県副知事が、「四七名の皆様は、県民の生命、財産を守るといふ崇高な使命のもと、毅然として災害現場に赴き、自らの危険も顧みず消防防災活動や救助活動に当たられ、尊くもその職に殉じられた方々であります。

志半ばで殉職された無念や、突然にして最愛のご家族を失われたご遺族の皆様深い悲しみをお察しいたしますと、悲痛の思いが胸に迫るものを禁じ得ず、改めて四七名の皆様のご冥福をお祈りいたします。」と慰霊の言葉を述べました。

続いて、玉串奉奠が行われ、高橋

会長、遺族を代表して佐藤渉様、佐藤幸子様(能代市)、来賓の方々が御霊のご冥福を祈りました。



神部秀行 秋田県副知事



佐藤渉様 佐藤幸子様



秋田県消防協会役員



高橋正尚 秋田県消防協会会長



ご遺族の皆様

**第七七期初任教育学生
殉職消防組員招魂碑を清掃**
秋田県消防学校

秋田市千秋公園本丸に建立されている「殉職消防組員招魂碑」の清掃は、毎年、秋田県消防学校初任教育課程の情操教育の一環として行われています。

今年も、八月三十一日(木)の慰霊祭に先立ち、八月二十二日(火)に二四名の学生によって行われました。

初めに、全員が「招魂碑」に黙とうを捧げた後、碑内の枯れ葉やゴミを除去したり、雑草などを取り除いたほか、碑に付いたコケなどの汚れを洗い流しました。

学生の皆さん、ありがとうございます。



**若手及び女性消防団員による
ワークショップが
開催されました**

消防団員の減少に歯止めがかからず、地域防災力の維持に深刻な影響が危惧されていることから、県は今年度から「消防団加入促進モデル事業」を実施しており、その事業の一つとして、県内二カ所でワークショップが開催されました。

九月八日(金)、県北地域から一五名の若手や女性消防団員がニプロハチ公ドーム会議室(大館市)に集まり、「活動しやすい消防団を考える『わたしたちは、こう考える』変えていいところ。変えてはいけないところ。」というテーマで、グループディスカッションを行いました。

九月二十二日(金)には、県南地域から二〇名が集まり、横手駅前温泉ゆうゆうプラザ(横手市)で同様のテーマで行いました。

今後の消防団活動の中核を担う皆さんから積極的な意見が出され、大変有意義な議論になりました。

県央地域では、一二月二三日(水)に秋田市で開催されます。

三地域で出された意見は、二月一七日(土)に秋田市で開催される「今後の消防団のあり方、役割を考えるシンポジウム」(仮称)で発表される予定です。



第2回ワークショップ(横手市)

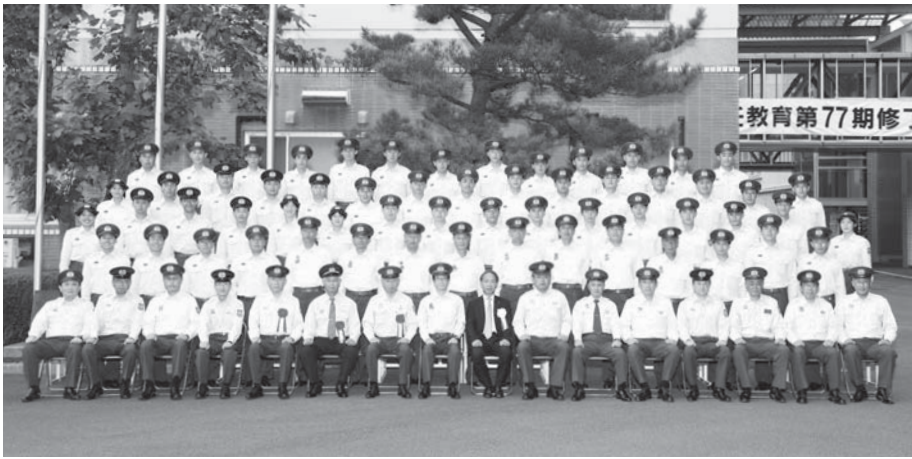


第1回ワークショップ(大館市)

秋 田 県
消 防 学 校

初任教育第七七期修了式
五一名修了第一線での活躍を期待

秋田県消防学校第七七期初任教育の修了式が九月一五日(金)、同校の屋内訓練場で、修了生の家族や来賓など約二〇〇名が出席して行われました。五一名の修了生は、六ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、明日から、それぞれの所属消防本部に着任し消防士として活動することになります。



修了式は、渡辺明 学校長が修了生の一人一人に修了証書と功労賞受賞者に表彰状を授与した後、秋田県知事あいさつ(代読)、来賓祝辞(佐藤 秋田県消防長会副会長・高橋 秋田県消防協会会長)と続き、修了生が答辞を述べ、最後に校歌を合唱して終わりました。

表彰状授与

■ 功 労 賞 (五名)

秋田市消防本部	安藤 修平
秋田市消防本部	夏井 隆一
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	夏井 大樹
由利本荘市消防本部	澤田 啓吾
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	安藤 峻利

学校長式辞 (要約)



秋田県消防学校
学校長
渡辺 明

皆さんはこの半年間、寝食をともし、夢を語り合い、友情を深め、時にはライバルとして切磋琢磨し、時には仲間として励まし合い、同期としての絆を作りあげました。この絆は、これからの消防人生において、大きな財産となるはずです。

皆さんは、明日からそれぞれの所属に戻り、第一線の業務に就きます。これから、多くの厳しく困難な現場が立ちはだかることと思います。しかし、世代を超えて築かれてきた消防精神を胸に、各自の役割を果たし、仲間と一致協力して立ち向かうことにより、必ずや乗り越えることができるでしょう。

各消防本部、そして地域住民の皆様も皆さんの若い力を大いに期待しています。「人を助けたい」という消防を目指した初心を忘れず、信念を貫き、この半年間で成長した自分を信じ、堂々と職責を果たしてください。

これからも事故や健康に留意されて実り多い人生を歩まれ、大いに活躍されることを心から祈念しております。

修了生答辞 (要約)



秋田市消防本部
消防士
安藤 修平

五一名の仲間と厳しい訓練や座学、トレーニングに励み、雑談をした時間がお互いの絆を深め、一人の社会人、消防職員として成長することができました。

近年、地震や異常気象による大雨、土砂災害など各種災害による悲惨なニュースは後を絶ちません。そうした中で、私たちは地域住民の安心安全を守り、困っている人を助けたいという強い思いと使命感を忘れず、消防業務に尽力して参ります。

この半年間、この消防学校で培ったことを胸に、各地域そして秋田県消防の更なる発展に資することを誓い、答辞といたします。





77期 初任教
半年間を振り返って
秋田県消防学校

秋田市消防本部 安藤 修平

総代を務めたことは、貴重な経験となりました。組織をまとめる難しさを痛感しましたが、今振り返ると、全体を考えて精一杯やりきることができたと思います。これも教官をはじめ、同期の仲間の支えがあったからこそと感じています。これから第一線で活躍することが一番の恩返しになると思っています。

大館市消防本部 兎澤 慶伍

私は、より多くの人の笑顔を守りたいと思い消防という職業を志し、消防学校での半年を生活した。苦しい思いをすることがあったけれど、全ては消防士を志した目標に一步一步近づいたためと思い、最後までやり切ることができた。目標に向けて、改めて覚悟を決めて訓練に励みたい。

北秋田市消防本部 小野 美咲

初めは結案を覚えることで手一杯でしたが、日々自分なりの復習を続けました。最後の現場想定訓練をしていて、半年間の授業がすべて活か

されていることを感じました。また、反省点を言葉で表せるようになったとき、成長を感じました。初任科で学んだ基本を忘れず、頑張っていきたいと思っています。

由利本荘市消防本部 澤田 啓吾

これからは、本物の現場で本物を相手に活動しなければなりません。不安ではありますが、自分がやりたいことへのスタートラインです。多くの市民を助けられるよう、もっと技術や体力に磨きをかけ、由利本荘市に大きな貢献をしていきます。

にかほ市消防本部 鈴木 琉ノ介

この半年間は、今までの人生で一番努力した期間だったと思います。技術や知識がゼロから始まった私たちに、消防人生に必要な土台を作ってくれた教官方には、本当に感謝しています。初任教育で学んだことを忘れず、人命救助のスペシャリストになれるよう頑張ります。

横手市消防本部 小場 夏亜

半年間、成長できた面も多いが、それ以上に未熟な部分が多いと思う。今ある緊張感、向上心を忘れずに、知識、技術の習得に励み、自己啓発に努めていく。所属に戻り、現場に出るといろいろな場面があるとと思うが、感情に左右されることなく

消防人生を送っていきたい。

五城目町消防本部 武田 愛

入校したときの厳しい服装点検から半年、無事に修了することができたか不安でした。日々助けてくれた同期の皆さん、全てを教えてくださいました教官、支えてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。この感謝を忘れることなく努力を続け、町民から愛される消防士になれるように頑張ります。

鹿角広域消防本部 佐藤 侑都

期待と不安を抱いていた入校式を今でもはっきりと覚えています。座学では、復習を徹底したことで消防活動に対する理解が深まりました。訓練では、教官から熱い指導をもらいながら技術の習得に取り組みました。半年間で学んだことをこれからの消防人生に活かして、安全、確実、迅速に活動していきたいと思えます。

能代山本広域消防本部 金田 爽

半年間、最初から最後まで怒られていた気がします。訓練では常に新しいことを学び、レベルが上がっていききました。基礎ができなければステップアップできない、基礎の大切さを学びました。また、地獄の坂ダッシュでは、精神面を鍛えられました。

た。半年間で消防の知識、技術に加え、消防士としての自覚、覚悟ができました。

湖東地区消防本部 三浦宏太郎

入校したときは半年間やっていけるかどうか不安でした。効果測定や資格取得のために日々自習時間を活用し、復習するように心がけました。訓練でも反復して練習することで、できるようになりました。初任教育が修了し、ここからがスタートだと思うので頑張りたいと思います。

男鹿地区消防本部 安藤 峻利

消防学校で学んだ知識や技術、礼式等は消防士として必要最低限なことだと思えます。現場に出た際に一人の戦力としてまだまだ力不足です。卒業によって、消防士として漸くスタートラインに立つことができたといい思いで、所属でも訓練に日々精進していきたいと思えます。

男鹿地区消防本部 夏井 大樹

体を張って人の命を救いたいという思いで消防の道に進みました。それには知識や経験、精神力、忍耐力がとても大事だということを学ぶことができました。共に汗を流し、励まし合いながらコミュニケーションが大事だということも学びました。

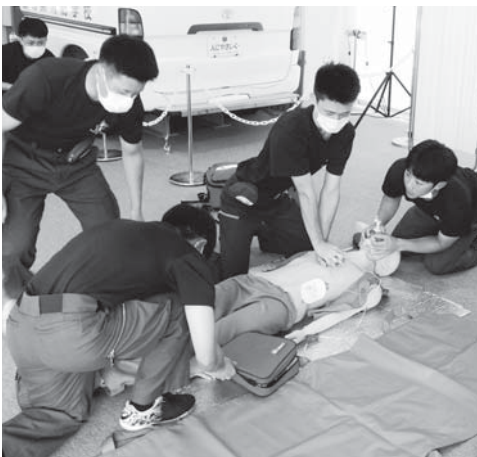
この学びを活かして日々精進していきます。

大曲仙北広域消防本部 黒田 登夢

厳しい学校生活を終え、成長を実感するとともに、本当にあつという間でした。初めは基本的な知識や技術の習得に苦勞しましたが、教官方の献身的な指導のおかげで、徐々に身につけることができました。学んだ知識を活かし、地域の安全を守るため努力していきたいと思えます。

湯沢雄勝広域消防本部 高橋 麻優

訓練では、小隊ごとに工夫して意見を出し合い、より良い訓練ができるようにしてきたと思う。その結果、実技の効果測定や校長査閲で力を発揮できたと思う。一日も早く、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思う。



地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551
FAX 018(853)6311

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

支部情報アラカルト

第四九回男鹿地区中学校防火・

救急救命弁論大会の開催

男鹿潟上南秋支部では、秋田県消防協会から委託された火災予防団体育成事業について、男鹿地区消防本部管内の中学生を対象に「防火・救急救命弁論大会」、湖東地区消防本部管内の小学生を対象に「防火作文標語コンクール」、五城目町消防本部管内の小学生を対象に「防火・防災作文コンクール」を開催しております。



命弁論大会」について紹介します。第四九回を数える本大会は、令和五年九月八日、男鹿市立男鹿東中学校を会場に参加校四校、四名の弁士が実際に体験したことや普段から考えていることについて発表しました。

この大会は、男鹿地区消防一部事務組合が発足する前の男鹿市において、子供の火遊びによる火災が多かったことから、小学生には「防火ポスター展」、中学生には「防火弁論大会」を開催することで、防火意識の高揚を図ることを目的として実施されました。

組合発足後は新たに第一回大会として、コロナ禍の令和二年と三年を



除き、毎年実施しております。

開催当初は、最大で参加校十二校、参加人員十五名という年もありました。が、学校の統廃合により現在は対象校が五校まで減っており、大会のあり方について今後の課題となっております。

今年大会では潟上市立天王中学校二年佐々木董さんが「救える命を救うために」と題して救急車の適正利用を訴え、最優秀賞を受賞しました。



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和 5 年		令和 4 年			同期比較	
	9 月	累計	9 月	累計	年計	9 月	累計
建 物	9	139	12	122	165	- 3	17
林 野	1	26	0	27	27	1	- 1
車 輛	3	23	3	25	33	0	- 2
その他	7	75	3	80	89	4	- 5
合 計	20	263	18	254	314	2	9
死者数	3	12	1	20	26	2	- 8
負傷者数	3	45	2	31	36	1	14

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- 消防設備保守点検
- トーハツポンプ
- キンパイホース
- 各種消防機械器具
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp